

V A L U E & Q U A L I T Y

株主の皆さまへ

第 **117** 期
報告書

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

90th
ANNIVERSARY
SINCE 1927



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

証券コード：7995

基本理念

VALUE & QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

VALUE & QUALITY

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに第117期報告書をお届けします。

中期経営計画“NV・S7”の2年度目となる当期の日本経済は、前半においては個人消費の一部に明るさが見えたものの、対米ドル為替レートが円高傾向で推移したことや中国経済の減速による影響を受けて、企業の生産活動や設備投資に力強さが欠ける展開となりました。

しかしながら、後半に入ると、半導体業界の活発な設備投資や堅調な米国経済の動きに加え、為替レートが円安方向へシフトしたことにより輸出が回復し、製造業の稼働率も上昇しました。

そのような事業環境下、当社グループは“NV・S7”で掲げた戦略の迅速かつ着実な実行をし、収益の拡大を図るとともに、“選択と集中”の速やかな実施やリスクマネジメントのさらなる強化など事業基盤の構築に努めました。

本年1月、当社は創業90周年を迎えました。

この節目となる年を迎えることができましたのは、ひとえに株主の皆さまのご支援とご理解の賜物でございます。

ここに篤く御礼申し上げます。

今後もバルカーは次なる10年に向けて、企業理念“THE VALQUA WAY”のもと、社名にもある“価値と品質の向上”を追求し続け、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

平成29年6月

代表取締役社長 兼 CEO

龍澤利一



シール製品
事業売上高 **28,618** 百万円売上高
構成比 **65.6** %事業
概況

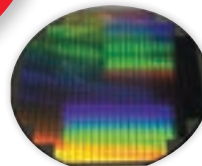
海外プラント向けの販売が減少したものの、国内外の先端産業市場向けの売上が拡大し、売上高は286億1千8百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は29億4百万円（同9.9%増）となりました。

今後の
展開

バルカーグループのコア事業として、海外展開の加速を図るとともに、シールエンジニアリングサービスの提供を通じた顧客接点の強化を行い、業績の拡大を図ってまいります。

機能樹脂製品
事業売上高 **11,550** 百万円売上高
構成比 **26.5** %

連結売上高
43,640
百万円

その他
事業売上高 **3,470** 百万円売上高
構成比 **7.9** %事業
概況

一時的に中国経済の減速による影響を受けたものの、国内外の先端産業市場およびプラント市場に向けた販売が伸長し、売上高は115億5千万円（前年同期比13.1%増）、セグメント利益は7億8千万円（同119.6%増）となりました。

今後の
展開

海外市場に向けて業容の拡大を行うとともに、国内においても新たな分野へ果敢に挑戦し、ノンシール分野の中核事業として成長を図ってまいります。

事業
概況

シリコンウエハーリサイクル事業における受託枚数の増加に加え、“選択と集中”の効果もあり、売上高は34億7千万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は3億8千万円（同200.4%増）となりました。

今後の
展開

シリコンウエハーリサイクル事業における収益力の強化に加え、H&S（ハード&サービス）事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日	自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日
売上高	41,120	43,640
売上原価	27,257	28,344
売上総利益	13,863	15,296
販売費及び一般管理費	10,739	11,230
営業利益	3,123	4,065
経常利益	3,058	3,929
税金等調整前当期純利益	2,690	3,767
当期純利益	1,845	2,558
親会社株主に帰属する当期純利益	1,752	2,348

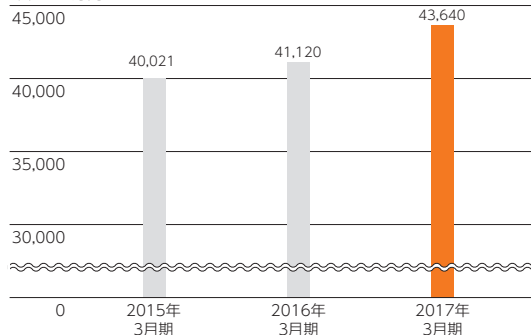
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2016年3月31日	2017年3月31日
資産の部		
流動資産	23,385	25,026
固定資産	19,860	21,602
繰延資産	13	22
資産合計	43,258	46,651
負債の部		
流動負債	12,285	11,632
固定負債	2,468	4,168
負債合計	14,753	15,801
純資産の部		
株主資本	26,031	27,316
その他の包括利益累計額	1,120	1,955
非支配株主持分	1,352	1,577
純資産合計	28,504	30,849
負債純資産合計	43,258	46,651

売上高

単位：百万円

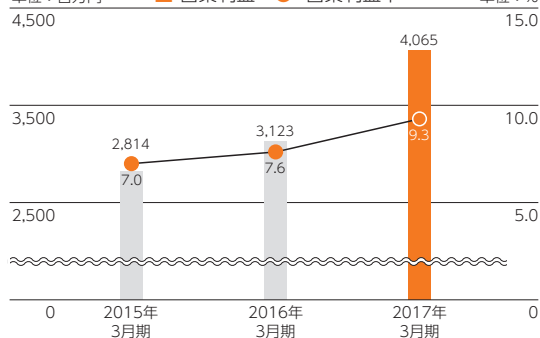


営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

■ 営業利益 ○ 営業利益率

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2015年3月期	5.0 円	6.0 円	11.0 円
2016年3月期	6.0 円	6.0 円	12.0 円
2017年3月期	6.0 円	45.0 円	—

2017年3月期期末配当金の内訳
普通配当30.0円 創業90周年記念配当15.0円

※株式会社のご案内

当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式会社を実施いたしました。2017年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式会社併合を反映した配当額であります。なお、期中に株式会社併合を実施したため、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

米国半導体業界に向けて新たなVALQUAブランド製品を

— VALQUA NGC始動 —

世界の半導体生産の中心地が東アジアにあるなかであって、依然同分野で大きな存在であり続けているのが米国です。バルカーは、その最先端市場に向けて“VALQUA AMERICA”を通じ、主に高機能エラストマー製品を販売。着実に実績を重ねてきました。

信頼を得られていくなかで求められるようになったのが、米国におけるVALQUAブランド製品のラインナップ拡充です。

その声に応えるため新たにバルカークループに加わったのが、“VALQUA NGC”です。

以前からふっ素樹脂ライニングを施したタンク等を手掛けてきた同社。今後はバルカーの技術力が融合することで、新たな付加価値の創造が可能となり、これからの米国におけるVALQUAブランド力向上への寄与が期待されます。



完成し、出荷を待つライニングタンク

現場のすみずみまでプラントの安全を浸透

— モバイル・トレーニング・システム誕生 —

実技と座学を融合したカリキュラムにより、顧客にシールおよびその周辺部材に関する正しい知見と取り扱いの技能を学んでいただく、“シール・トレーニング・センター” (STC)。2015年に開設してから、受講者の皆さまから高い評価を得、日本（奈良・東京）に加えて海外でも設置が進んでいます。

このたび開発した“モバイル・シールトレーニング・システム”は、STCのカリキュラムをより現場に近いところで受講いただくための移動・組立式の設備です。

モバイル・シールトレーニング・システムの特徴はなんといっても機動性。これにより、「より多くの者にSTCのカリキュラムを受講させたい」、「現場レベルでトレーニング講師を養成したい」といった要望に応えることが可能となりました。

これからもバルカーは、顧客とのシールエンジニアリングの共有を通じ、プラントの安全操業に貢献していきます。



機動性を活かして各地で活躍しています

開発段階から環境保護を

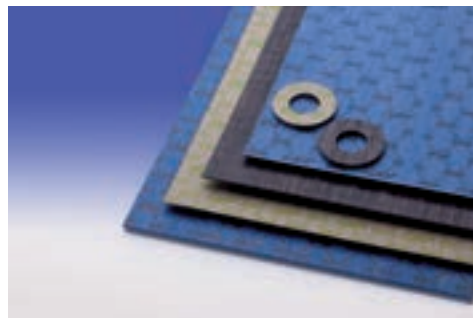
— 環境対応を進めるモノづくり —

現在、地球環境保護や労働安全の観点から、産業界にもさまざまな環境に関する規制が導入されており、バルカーも積極的に対応しています。

そのひとつに電気・電子機器への有害物質の使用を制限するための規制である、“RoHS（ローズ）指令”があります。

バルカーは、その製品が最終的に電気・電子機器に組み込まれる可能性があるため、規制の導入前から当該物質を使わないモノづくりを研究。現在はすべての製品で同指令に定められた危険物質の使用をとりやめています。

バルカーの製品は、プラントや機器からの危険・有害物質の漏えい防止を通じて環境保護に役立っていますが、“モノづくり”でも“環境”への意識を高く持ち続けていきます。



環境対応製法によって生み出された製品
(ジョイントシート・ガスケット)

CSR
REPORT

“THE VALQUA WAY”実践発表会

— 90周年記念 チャンピオン大会 開催 —

グローバル展開をしているバルカーは、グループ全社員が企業理念“THE VALQUA WAY”を共有し、そのもとに企業活動をしています。

国籍・性別・年齢などに捉われない人材開発の一環として、毎年1回、グループ全社員が参加し、企業理念をどのように各自の業務に落とし込み、実践しているかを発表する『“THE VALQUA WAY”実践発表会』を行っています。



創業90周年を迎えた当期は特に“90周年記念チャンピオン大会”として開催。

各国で活躍する過去の大会における成績優秀者が再び日本に集い、前回発表時からの自分の変化や、新たな取り組みについて、そして、次なる10年に向けた決意を発表しました。

さまざまな価値観とキャリアをベースにした発表と力強い決意表明を行いました

会社の概況 (2017年3月31日現在)

社名	日本バルカー工業株式会社 NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.	
創業	昭和2年1月21日	
設立	昭和7年4月8日	
資本金	13,957百万円	
発行済株式総数	18,688,733株	(当社は2016年10月1日付で株式併合を実施いたしました。詳細は4ページの株式併合のご案内をご覧ください。)
株主総数	10,718名	
従業員数	424名 (連結)	1,691名)

役員 (2017年6月21日現在)

取締役

代表取締役社長 兼 CEO	瀧澤 利一
専務取締役	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (CCO)	山根 啓
取締役 (社外)	関 忠行
取締役 (社外)	三木 緑

監査役

常勤監査役	林 遙
監査役 (社外)	中根 堅次郎
監査役 (社外)	八戸 孝彦

CEO = 最高経営責任者
CCO = 最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員	小田 博志
専務執行役員	小林 健一
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	青木 睦郎
執行役員	高 昭夫
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	上田 和也
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	朝比奈 稔
執行役員	立田 寛
執行役員	櫻井 慎也
執行役員	藤下 尚彦

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <http://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。